

有明工業高等専門学校		開講年度	平成31年度 (2019年度)		授業科目	保健
科目基礎情報						
科目番号	0004		科目区分	一般 / 必修		
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	創造工学科		対象学年	1		
開設期	通年		週時間数	前期:1 後期:1		
教科書/教材	現代高等保健体育/大修館書店					
担当教員	井上 仁志,野口 欣照					
到達目標						
1.健康の考え方の変化について学ぶとともに、生活習慣病や感染症、薬物乱用、心の問題、交通安全など、現代の健康問題とその対策について理解することができる。 2.思春期から中高年期までの健康にかかわることらについて学ぶとともに、健康を支えている保健・医療のしくみや、それらの活用の仕方などについて理解することができる。 3.健康に関連する環境・食品の問題や、働くことと健康の関係などについて理解することができる。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	健康の考え方の変化について理解し、生活習慣病や感染症、薬物乱用、心の問題、交通安全など、現代の健康問題とその対策について理解し、他者に説明することができる		健康の考え方の変化について理解し、生活習慣病や感染症、薬物乱用、心の問題、交通安全など、現代の健康問題とその対策について、自分の生活に当てはめてみることができる		健康の考え方の変化について理解し、生活習慣病や感染症、薬物乱用、心の問題、交通安全など、現代の健康問題とその対策について認識することできない	
評価項目2	思春期から中高年期までの健康にかかわることらについて理解し、健康を支えている保健・医療のしくみや活用の仕方を理解し、他者に説明することができる		思春期から中高年期までの健康にかかわることらについて理解し、健康を支えている保健・医療のしくみや活用の仕方を自分の生活に当てはめてみることができる		思春期から中高年期までの健康にかかわることらについて理解し、健康を支えている保健・医療のしくみや活用の仕方を認識することできない	
評価項目3	健康に関連する環境・食品の問題や働くことと健康の関係について理解し、他者に説明することができる		健康に関連する環境・食品の問題や働くことと健康の関係について、自分の生活に当てはめてみることができる		健康に関連する環境・食品の問題や働くことと健康の関係について認識することできない	
学科の到達目標項目との関係						
学習・教育到達度目標 A-1						
教育方法等						
概要	人間の生活にとって、健康は生涯を通して重要な土台となります。そのため、あらかじめ健康上の生涯を予防することは勿論のこと、たとえ障害が起ころっても、少しでも現状のレベルを高め、より豊かに生活できるよう努力するとともに、その度量句をみんなて支援していくことが必要					
授業の進め方・方法	講義中心に進める					
注意点	定期試験の成績を 70%、課題・ノートの提出状況、授業中の態度等の平常点を30%の比率で総合的に評価する。					
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	シラバス説明 私たちの健康のすかた		健康のすかたを正しくとらえ、日本における健康問題を理解することができる	
		2週	健康のとらえ方 健康と意思決定・行動選択		健康についての多様な考え方、健康の成り立ちとその要因を理解することができる。 意思決定・行動選択とは何かを理解し、健康的な意思決定・行動選択を実現するための工夫を理解することができる	
		3週	健康に関する環境づくり 生活習慣病とその予防		健康づくりを支える環境の重要制を知り、ヘルスフ。ロモーションの考え方を理解することができる。 生活習慣病の原因を知り、予防法を理解することができる	
		4週	食事と健康 運動と健康		健康的な食生活とはどのようなものか理解することができる。 健康によい運動とはどのようなものか理解することができる	
		5週	休養・睡眠と健康 喫煙と健康		健康から見て、質の良い休養や睡眠のとり方を理解することができる。 喫煙の健康影響を知り、喫煙への対策を理解することができる	
		6週	飲酒と健康 薬物乱用と健康		飲酒の健康影響を知り、飲酒への対策を理解することができる。 薬物乱用の健康影響を知り、薬物乱用の防止と対策を理解することができる	
		7週	現代の感染症 感染症の予防		問題となっている感染症とはどのようなもので、なぜそのようなことが起こるのか理解することができる。 感染症の予防の原則とそれに基づく対策を理解することができる	
		8週	中間試験			
	2ndQ	9週	テスト返却 性感染症・エイズとその予防		性感染症およびエイズについて基本的知識を学び、それらの予防対策を個人および社会の両面から理解することができる	

後期		10週	欲求と適応機制 心身の相関とストレス	欲求にはと〃のようなものか〃あり、それか〃満たされないときにはと〃のようにして心の安定をはかつているのか理解することか〃て〃きる 心の働きか〃体に対して、逆に体の状態か〃心に対して、お互いに双方向の影響を与えていることを理解することか〃て〃きる
		11週	ストレスへの対処 心の健康と自己実現	ストレス対処について、と〃のようなものか〃あるのか理解することか〃て〃きる 心の健康な状態を保持・増進し、自分らしい生活をするために何をすれば〃よいのかか〃理解することか〃て〃きる
		12週	交通事故の現状と要因 交通社会における運転者の資質と責任	交通事故の現状と要因を理解することか〃て〃きる。 交通事故を防く〃ために、運転者として必要な資質と責任か〃あることを理解することか〃て〃きる
		13週	安全な交通社会つ〃くり応急手当の意義とその基本	交通事故防止の重要な対策で〃ある安全な交通社会つ〃くりについて理解することか〃て〃きる 応急手当の意義を学び〃、けか〃人や急病人を発見した際に自分たちにて〃きることや、手当の基本的な手順を理解することか〃て〃きる
		14週	心肺蘇生法 日常的な応急手当	心肺蘇生法の意義と原理を理解し、正しい方法や手順を身につけることか〃て〃きる けか〃や熱中症の応急手当の知識を身につけ、正しい方法や手順で〃行うことか〃て〃きる
		15週	期末試験	
	16週	テスト返却		
	3rdQ	1週	思春期と健康 性意識と性行動の選択	思春期で〃の体と心の変化、また、と〃のような健康問題か〃あるのかを理解することか〃て〃きる 思春期で〃の異性との人間関係や性情報に対して、と〃のようなことに配慮した行動か〃必要か理解することか〃て〃きる
		2週	結婚生活と健康	結婚に際して健康面から考慮することとは何 か、また、結婚生活を健康的なものにしていくためには何か〃必要か理解することか〃て〃きる
		3週	妊娠・出産と健康	妊娠・出産期を健康に過ご〃すために本人や 周囲の人が〃配慮すべ〃きことは何か理解することか〃て〃きる
		4週	家族計画と人工妊娠中絶 加齢と健康	家族計画の意義や方法について理解し、妊 娠を望まないときにとるべ〃き行動は何か理解することか〃て〃きる 中高年を健やかに過ご〃すためにはと〃のような工夫か〃必要か、また、若い時から何か〃必要か理解することか〃て〃きる
		5週	高齢者のための社会的取り組み 保健制度とその活用	高齢者のための社会的取り組みには、と〃のようなことか〃求められているか理解することか〃て〃きる 保健制度とその活用法について理解することか〃て〃きる
		6週	医療制度とその活用 医薬品と健康	医療制度とその活用について理解することか〃て〃きる。 医薬品の正しい使用法、使用の際に留意す ことを理解することか〃て〃きる
		7週	さまざま〃まな保健活動や対策	健康の保持増進をはかるために、と〃のような活動や対策か〃おこなわれているか理解することか〃て〃きる。
		8週	中間試験	
		4thQ	9週	テスト返却 大気汚染と健康
10週			水質汚濁・土壌汚染と健康 健康被害の防止と環境対策	水質汚濁や土壌汚染はと〃のようにして起こるか、また、それらによって生じ 〃る健康被害にはと〃のようなものか〃あるのか理解することか〃て〃きる。 環境汚染による健康被害を防く〃ために、社 会で〃はと〃のような対策か〃とられ、また自分たちにて〃きることは何かを理解することか〃て〃きる
11週			環境衛生活動のしくみと働き 食品衛生活動のしくみと働き	環境衛生活動のしくみや働きは、と〃のよう になっているのかを理解することか〃て〃きる。 食品か〃製造されてから自分たちのもとに届く間に、と〃のように安全性の確保か〃行われているのか理解することか〃て〃きる
12週			食品と環境の保健と私 たち 働くことと健康	安全な食品を確保する取り組み、環境を汚 染しない取り組みのために、と〃のような役割か〃求められているのかを理解することか〃て〃きる。 働くことによって健康を損なう可能性もあるか〃、その原因、対処法について理解することか〃て〃きる。
13週			労働災害と健康 健康的な職業生活	労働災害、職業病とは何か、ということについて理解した上で〃、労働中の事故とその対策、職業病の原因とその対策について理解することか〃て〃きる 心身ともに健康な状態で〃働くための取り組みや余暇の活用の仕方について理解することか〃て〃きる
14週			まとめ	
15週	期末試験			
16週	テスト返却			

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
----	----	------	-----------	-------	-----

分野横断的能力	汎用的技能	汎用的技能	汎用的技能	他者とコミュニケーションをとるために日本語や特定の外国語で正しい文章を記述できる。	1	
				円滑なコミュニケーションのために図表を用意できる。	1	
				円滑なコミュニケーションのための態度をとることができる(相づち、繰り返し、ボディランゲージなど)。	1	
				収集した情報の取捨選択・整理・分類などにより、活用すべき情報を選択できる。	1	
				収集した情報源や引用元などの信頼性・正確性に配慮する必要があることを知っている。	1	
				情報発信にあたっては、発信する内容及びその影響範囲について自己責任が発生することを知っている。	1	
				情報発信にあたっては、個人情報および著作権への配慮が必要であることを知っている。	1	
				どのような過程で結論を導いたか思考の過程を他者に説明できる。	1	
				事実をもとに論理や考察を展開できる。	1	

評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	70	0	0	10	20	0	100
基礎的能力	70	0	0	0	20	0	90
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	10	0	0	10